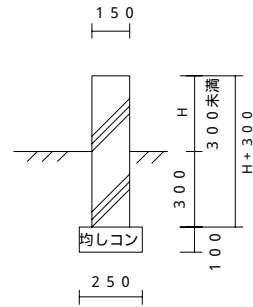


# 構造図

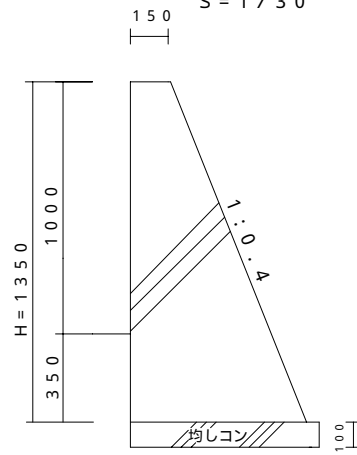
## 境界コンクリート

S = 1 / 30



## 重力式擁壁

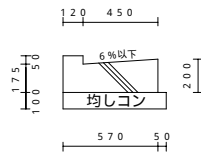
S = 1 / 30



見え高が1mを超える場合は水抜きパイプを設置すること。  
コンクリート強度は無筋構造物 18 N / mm<sup>2</sup>

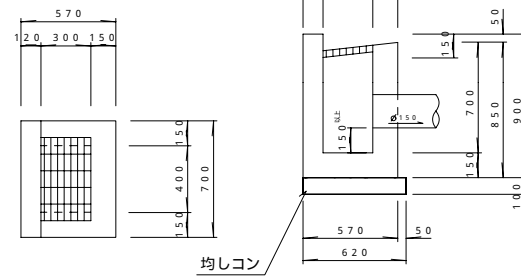
## L型側溝

S = 1 / 30



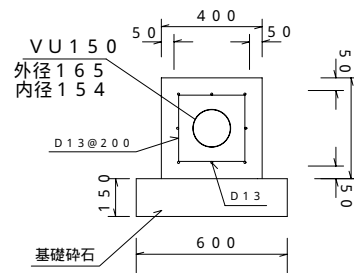
## ガッター柵

S = 1 / 30



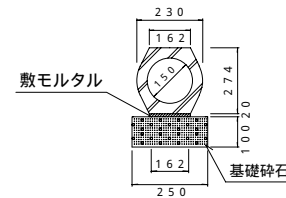
## 管巻図 ( S = 1 / 30 )

土被り60cm未満の場合 ( 要 : 鉄筋 )



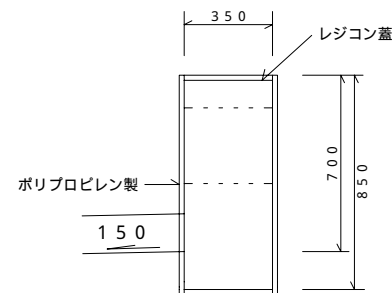
## 重圧管 150

S = 1 / 25



## 宅内柵

縮尺 30分の1



## 凡例

コンクリート強度は無筋構造物 18 N / mm<sup>2</sup>  
鉄筋構造物 24 N / mm<sup>2</sup>  
鉄筋規格 ( SD345 )

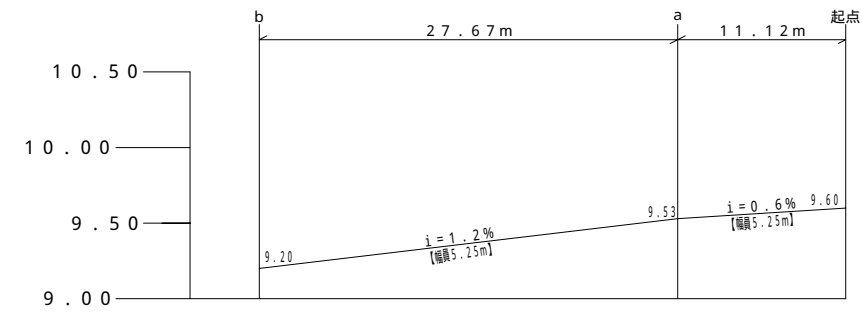
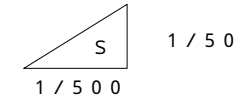
伸縮目地  
無筋構造物は施工間隔 10 m 以内に 1ヶ所  
鉄筋構造物は施工間隔 20 m 以内に 1ヶ所

隣接構造物がある場合は緩衝材設置

隣接する水路や既存構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

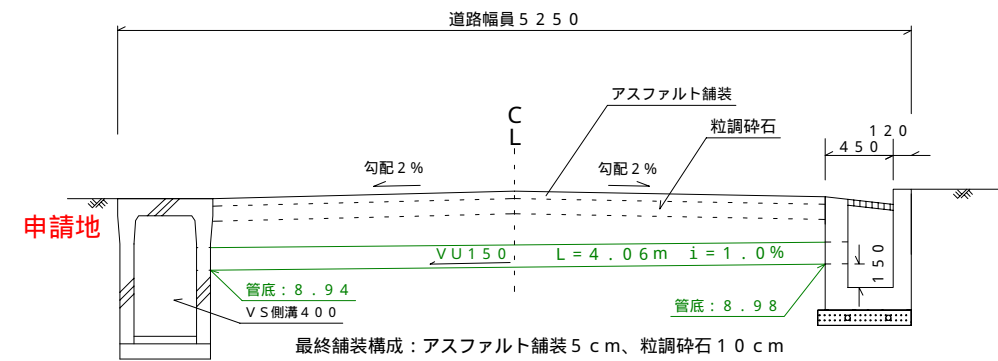
擁壁にフェンス設置等の削孔は不可。

## 開発道路縦断図



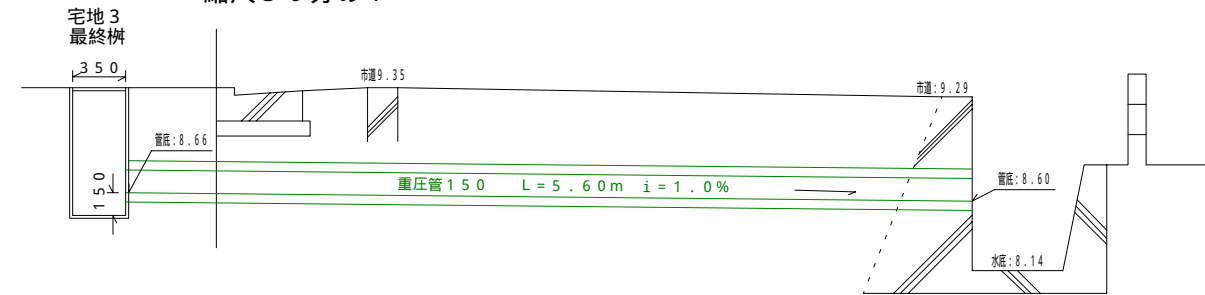
## 開発道路横断図

縮尺 50分の1



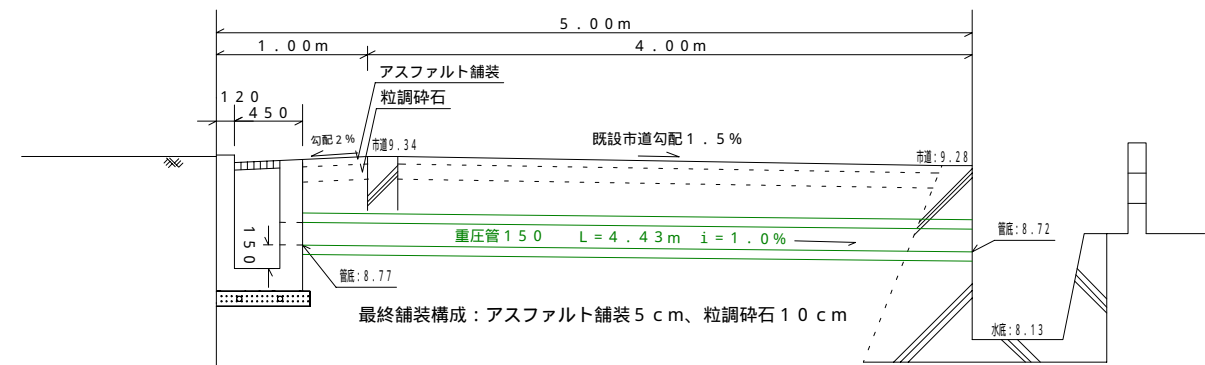
## 宅地 3 最終柵

縮尺 50分の1



## 開発道路横断図【拡幅部分】

縮尺 50分の1



作製: 令和 5年 11月 20日  
高松市国分寺町新名 440番地 9  
土地家屋調査士 西井俊二